

【評価実施概要】

事業所番号	170202857		
法人名	有限会社のどか		
事業所名	グループホームのどか		
所在地	札幌市北区あいの里2条3丁目1番3号 (電話)011-778-8837		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年1月24日	評価確定日	平成20年2月19日

【情報提供票より】(平成20年1月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	19年	3月	3日
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	7人	
職員数	10人	常勤6人, 非常勤4人,	常勤換算 1.38人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り			
	2階建ての	1~2	階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 / 45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(1月24日現在)

利用者人数	7名	男性	2名	女性	5名	
要介護1	1	要介護2	0			
要介護3	5	要介護4	1			
要介護5	0	要支援2	0			
年齢	平均	81.7歳	最低	72歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	遠藤内科病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは札幌市の郊外にあって、近くには教育大学をはじめ、小・中・高・大学が在る学園都市の住宅地にある。ホームは大きめの一般家庭を利用した建物で、自宅のような生活感を味わえるホームとなっている。南面の日光を受けて明るく、庭には季節の花、芝生にパラソル、テーブル、椅子を置き、側に野菜畑がある。職員は明るく、利用者もゆったりした、のどかな生活がある。就寝前の入浴希望者は曜日を決めず、いつも受け入れられている。職員は家庭の事情を組み入れて勤務が出来ている。「安心と笑顔が多い家庭的なホーム」一人ひとりの意向を尊重した支援が出来ている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	利用者の心身の状況に合わせた的確なカロリー計算のあり方を検討することが課題であった。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	カロリー計算のあり方を公的機関に相談したが、良い回答が得られず、独自に勉強し、現在では確実なカロリー計算が出来るようになり、対応をしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	ホームができてからまだ2年目で、町内会への地道な働きかけと、行事等の参加で地域から理解が得られ、運営会議にも参加してもらっている。議題はホーム内の様子や課題などを正直に示し、討議されている。町内会と合同で災害訓練を企画する計画を立てている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の方全員に運営委員会の委員になってもらっており、会議の参加率も良い。アンケートなどでも苦情・不安はなかったが、本音を出してもらえるような工夫を考え、実施してみることを企画している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近くの小学校から、文化祭などの発表会への案内が届き参加している。地域の祭り・清掃・花壇作り等の行事等へ利用者も参加とホームが企画する夏祭りへの参加の呼びかけなどを行って、地域に溶け込み協力を得ている。

評価結果（詳細）

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	設立当初から掲げている理念「地域の中で自然とふれあい、自分らしくのどかな生活・・・」の実現に向け努力している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の申し送りと、月1回のミーティングで理念と支援のあり方を検証し、実践に生かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の清掃・花壇作り・その他の行事へ積極的に参加している。小学校の発表会への案内が届くようになっている。事業所が企画する夏祭りには地域にチラシまきなどし、広範囲の方に知らせ、参加を呼びかけ交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はパートを含めた全員が行い、文書を提出し、理解を共有している。外部評価については、全体討議で改善点を具体的に検討、意思一致し取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営会議にヒヤリハットも含め、ホームの活動をきめこまやかに報告し、助言をもらっている。</p>		<p>運営会議へ望むにあたり、議題を明示し、検討してもらうことが、討議しやすいと思われる。討議された内容を整理して議事録を作ると、職員が読むことで理解ができると思うので検討を願いたい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>区の担当者への協力を積極的に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の通信にホームでの暮らしぶりの写真を載せ、知らせている。来訪時には、居間の壁に張り出している写真と個人のアルバムも作成し様子を見てもらい、要望を伺いながら近況を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。手紙・訪問時意見を述べてもらうようお願いしている。時には個人面談を行い要望等を求めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>まだ開設2年目で職員の異動を経験していない。管理者は職員教育に熱心に取り組み、馴染みのケアで、利用者が安心して様子が見える。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業経営者は、職員に対して外部研修を積極的に受けるように仕向け、職員が研修内容を決定することを保障している。経験豊富な職員は若い職員のおよき相談役になっている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>北区管理者会議に参加し、情報を交換し相互訪問の企画と北区連絡協議会に職員を参画させている。協力病院に同業者が集まり、月1回の勉強会を開催し質の向上に努めている。</p>		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家庭の事情・病院・施設からの入居者が多く、本人が納得している方が少ないことから、馴染めるよう職員が安心感を持ってもらえるよう努力している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の下ごしらえや裁縫が得意な方による古着を利用した雑巾作りなど、個々人の得意な技能を活かしてもらい、共に取り組み、学んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の語りや家族・知人の訪問時などから、昔の暮らしぶり、嗜好・趣向・特技・習慣を把握に努め、できるだけ希望に添えるよう努力している。</p>		
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族との係わりの中で要望・意見を聞き出し、職員全員で意見交換とカンファレンス会議を開催し反映できるように努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の進行状況を職員と意見交換をし、随時介護計画を見直しながら対応をしている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院・送迎を柔軟に対応している。将来ショートステイ・デイサービスをも取り入れることを模索している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>内科・歯科等の協力医療機関との関係を密にして対応をしているが、本人・家族が希望するかかりつけ医を優先に受けることにしている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>契約時に建物の構造上、全員が終末期の対応が出来ないことを説明し、日ごろ家族と話し合いを重ねている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>建物の構造上、各入居者同士の距離が近づいたため、職員の意識向上が大事なため、管理者は日々の係わりかたに注意しプライバシーを損なわない様に徹底している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的には、一日の流れはあるが、利用者の健康状況を見ながら希望をかな得るよう努力している。元気な方は、一人で散歩をしている方もいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の事前準備の食材作り・調理・盛り付け・後片付けを職員と共にしている。食事は職員も同席し、出来栄を会話しながら楽しくしている。時には外食と個人の好みの出前を取って食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は同姓介助となっている。希望に応じて入浴が出来る。現在管理者が就寝前の希望者へにも実現できるようにシフトをしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	料理・裁縫・畑等のそれぞれ得意な方の力を発揮できるよう取り組んでいる。北海道弁カルタで遊びや医療機関へのデイサービスに出かける方もいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	冬以外は、天気の良い日は外出（散歩・買い物・ドライブ・外食）し、肌で季節を感じることを実施している。冬場は、デパートなどに出かけ、買い物や外食を多く取り入れている。現在一人で散歩している方（夏場）には住所、連絡先を書いたものを身に付け、所在場所がわかる機器を持参してもらっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の権利擁護を勉強会を重ね、職員の共有認識を図っている。玄関は開放してある。外出しようとしている方には、さりげなく声かけなどをし、一緒に歩いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得ての避難訓練・消火訓練・避難経路の確認を、年1回実施している。また、地域の協力関係については地域推進会議などで協議、検討をはかっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタルを毎日チェックして、職員間の情報を共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	既存の住宅を活用しているため、リビングと居間が隣接しているため、調理の匂いが漂う。ベランダから庭へ出ることが出来、風に涼んだり、花を見たり、畑の作物を取り入れたりでき、季節感を十二分に感じることが出来る。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染の家具や、写真・仏壇等を持ち込み過ごしている。居間には、季節に合わせた花が飾られ、外出の写真が壁に飾られて、思い出などを語れるようになっている。		

 は、重点項目。